

上勝町ゼロ・ウェイストセンター



あなたは自分が捨てたごみが、その後どこへ行き、どのように処理されるのか、知っていますか？

徳島県に「未来のコミュニティ」として、世界から注目を集めている町があります。徳島市内から、車で約 1 時間。大部分が標高 700m 以上の山地に覆われ、急な斜面に棚田や段々畑の風景を残す、徳島県上勝町。

それは、日本で初めて『ゼロ・ウェイスト（Zero=0、Waste=廃棄物）宣言』をした自治体です。

この「ゼロ・ウェイスト宣言」の中核で、ゴミステーション、リユースショップ、ラボラトリーや交流ホール、体験型ホテルからなる交流施設が、「上勝町ゼロ・ウェイストセンター」です。

町民の方は自らこの場所にごみを運び、丁寧に分別します。その数、45 種類。その結果、2018 年にリサイクル率 80%を達成しました。さらに町外の方は、ごみ分別の様子を見学することでごみと向き合い、企業や行政は、よりよい解決策をここで話し合います。

上勝町ゼロ・ウェイストセンターは、消費者に「なぜそれを買うのか？」、生産者に対して「なぜそれをつくるのか？」と疑問をなげかけます。分別やリユースショップを通して「買うこと」「捨てること」に消費者が向き合い、生産者や企業が「つくること」「売ること」を話し合い、改善していくことで真のゼロ・ウェイストが達成されるよう、人々に疑問をなげかける「？」型の建物なのです。

また、上勝町ゼロ・ウェイストセンター内に位置する「HOTEL WHY」は、ごみ処理のスタディーツアーと、実際にごみゼロで宿泊することを体験できる、ゼロ・ウェイスト体験型ホテルです。石鹸やコーヒーは必要な分だけをフロントでもらい、歯磨きや櫛などのアメニティは自分のものを持参することが推奨されています。翌日には、ゴミステーションで実際に45分別を体験できます。また、朝食は再利用できる瓶やお弁当箱に入っており、ごみは最小限に抑えられています。

これらの体験を通して、ごみから日々の暮らしの中にある無駄について向き合い、社会問題を自分ごととして捉えるきっかけを創出しています。



みなさんも、上勝町を訪れて、日々のごみを見つめ直し、わたしたちの暮らしをより豊かにするための素敵なヒントを見つけてみませんか？